

# めぶきアセアンレポート

## MEBUKI ASEAN REPORT

2022年3月号

### CONTENTS

- ◇ 【 バンコク通信 】 ～日系企業の進出動向～ . . . . . P.2～
- ◇ 【 アセアン駐在員コラム 】 . . . . . P.5
- ◇ 【 アセアン各国ニューストピックス 】 . . . . . P.6
- ◇ 【 アセアン・インド休日情報 】 2022年3月～2022年5月 . . . . . P.7
- ◇ 【 めぶきFGアジアネットワーク 】 . . . . . P.8～

常陽銀行シンガポール  
駐在員事務所  
63 Market Street #11-03  
Bank of Singapore  
Centre,  
Singapore 048942  
TEL:65-6225-6543

足利銀行バンコク  
駐在員事務所  
689, Bhiraj Tower  
at EmQuartier,  
27th Floor, Room  
No.2714, Sukhumvit  
Road, Klongton-nue,  
Wattana, Bangkok  
10110, Thailand  
TEL:66-2-261-2852

常陽銀行ハノイ  
駐在員事務所  
5th Floor, Sun Red  
River,  
23 Phan Chu Trinh  
Street,  
Hoan Kiem District,  
Hanoi, Vietnam  
TEL:84-24-3218-1668

本レポートの内容につきましては、当行の信頼し得る先からの情報に基づいて作成しておりますが、その正確性、信頼性を保証するものではありません。具体的に法律上、会計上、税務上の助言を必要とされる場合は、それぞれの専門家にご相談くださいますようお願い致します。



常陽銀行



足利銀行



めぶきフィナンシャルグループ

# 【バンコク通信】日系企業の進出動向

## ～日系企業の進出トレンドと各国からの投資状況～

足利銀行バンコク駐在員事務所  
五津 徳昭

～はじめに～

タイは、日系自動車メーカーが主要な生産拠点としているだけでなく、様々な業界や分野で多くの企業が進出・投資を行い事業展開をしています。そこで今回は、日系企業のタイへの進出トレンドについて、各国からの投資状況やタイ進出のメリットおよび課題とあわせてレポートいたします。

## 1. 日系企業の進出トレンド

### ▶タイへ進出する日系企業数の増加は継続、非製造業の進出増加が顕著

タイは、海外進出先としてのインフラや投資奨励制度などの投資環境が整備され、日系企業は右肩上がりの進出を続けており、既に多くの企業が事業展開をしています。

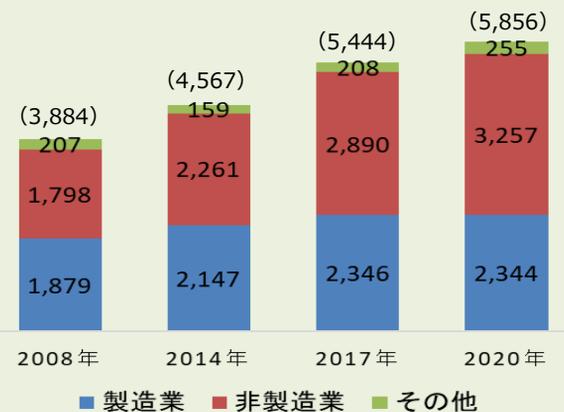
日系企業の進出推移を見ると、JETROバンコク事務所が調査した最新の「タイ日系企業進出動向調査2020年」（2020年10月5日～2021年3月12日調査）では、タイに進出している日系企業は5,856社であり、2017年調査時の5,444社と比較して412社増加しています。業種別では、製造業2,344社、非製造業3,257社、その他255社となっています。

2017年からの業種別推移を見ると、製造業は2,346社から2,344社と横ばいですが、非製造業の進出が2,890社から3,257社と約13%の増加率と顕著です。内訳ではサービス業としての進出が896社から1,017社と増加が目立っています。

業種別の推移からもわかるように、これまでの日系企業の進出といえば、自動車関連や家電関連の製造業が中心で、安価な労働力による生産コスト低減を目的とした労働集約型が多くを占めていました。

しかし近年の進出する日系企業数の増加は、非製造業の進出増加によるものであり、この背景として、日系の製造業がタイに集積するのに伴い、製造業をサポートするための物品賃貸（リース業・レンタル業）やコンサルティング等の専門サービス業、運輸業や情報通信業の進出が増えたことがあげられます。

【図表1】 日系進出企業数の推移（単位：社）



( ) 内は合計の進出企業数  
出所：JETRO資料より作成

【図表2】 非製造業の業種別進出数と増加率

(単位：社)

業種	2017年	2020年	増加率
卸売業	1,278	1,392	8.9%
専門サービス業	256	312	21.9%
運輸業・郵便業	204	211	3.4%
情報通信業	191	209	9.4%
不動産・物品賃貸業	100	188	88.0%
技術サービス業	153	173	9.4%
飲食店	147	170	15.6%
小売業	82	94	14.6%
その他	479	508	6.0%
合計	2,890	3,257	12.7%

※専門サービス業は、コンサルティング会社、会計事務所、法律事務所など

出所：JETRO資料より作成

## ▶タイ国内の消費市場をターゲットとした進出

タイの賃金上昇に伴う中間所得層の増加から、国内の消費市場をターゲットとした外食産業の進出も増加していることが、非製造業の増加に影響しています。実際タイには、4,300店を超える日本食レストランがあります。種類も豊富でタイにない日本食はないと言われており、コロナ禍でありながら連日賑わっています。

外食産業以外ではヘルスケア産業の進出が目立っており、タイは日本と同様に出生率が低下し、少子高齢化も進んでいることから、日本で培ったヘルスケアのノウハウを活かした事業展開が見受けられます。



コロナ禍の2021年3月にオープンした日本の寿司チェーン（筆者撮影）

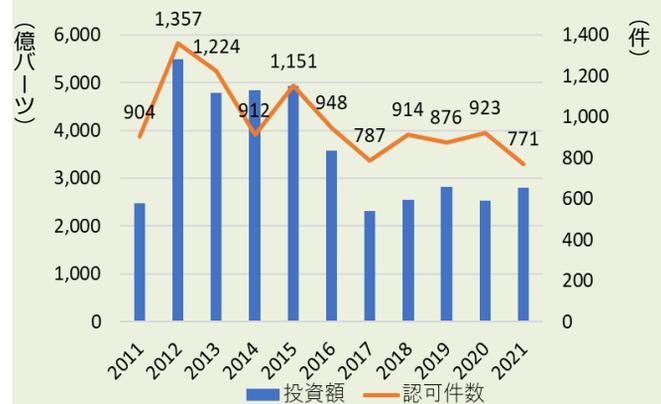
## 2.各国からの投資状況

### ▶2021年も日本からの投資額が首位をキープ

タイの外国直接投資（FDI、認可ベース）の受入れは、2012年以降の数年間は4,000億バーツ～5,000億バーツ台の高水準で継続しましたが、2017年以降からは2,300億バーツ～2,800億バーツ台まで減少し推移しています。2021年は、前年比で投資件数は減少したものの、サービスやインフラへの大規模投資により、前年比約11.3%増の2,806億バーツでした。

国別では、2018年以降、中国の割合が増加しており、2019年からは日本に次ぐ第2位の投資国となっています。2021年上半期は中国の投資額が首位となったものの、2021年通期の投資額では日本が首位をキープしています。

【図表3】世界からの投資額と投資件数の推移



出所：タイ投資委員会資料より作成

【図表4】直接投資上位5カ国の投資額と投資件数（認可ベース）

（単位：100万バーツ）

2019			2020			2021		
国	件数	金額	国	件数	金額	国	件数	金額
日本	217	88,067	日本	210	64,357	日本	189	73,503
中国	160	73,810	中国	181	55,788	中国	117	47,599
台湾	47	28,382	オランダ	65	21,269	アメリカ	37	34,184
香港	46	16,771	シンガポール	136	18,867	シンガポール	90	28,126
シンガポール	95	15,313	台湾	71	15,642	台湾	46	18,027
その他	311	59,530	その他	260	76,304	その他	292	79,231
合計	876	281,873	合計	923	252,227	合計	771	280,670

出所：タイ投資委員会資料より作成

## ▶コロナ禍で日系企業の新規登記は減少、投資額は増加

前述のFDIは既にタイに進出している日系企業からの再投資も含まれることから、新規進出（新規登記）を見ると、コロナ禍の2020年通期におけるタイで新規登記した日系企業は233社（前年比37.9%減）であり、資本金額が85億4,018万バーツ（前年比20.8%増）でした。2021年上半期は76社（前年同期比52.5%減）が新規登記し、投資金額では2021年上半期は32億5,638万バーツ（前年同期比15.2%増）となっており、新規登記の件数は減少しているものの、資本金額ベースでは増加しており、コロナ禍でも日系企業による投資は継続していることが分かります。

## 3.タイ進出のメリットと現状の課題

### ▶整備されたインフラや投資奨励制度が魅力、労働コストの上昇や高度人材不足が課題

タイ進出のメリットとして、まずインフラ面を中心とした投資環境の良さがあげられます。実際タイでは、道路や港湾等のインフラ整備が積極的に進められており、アセアン域内でも水準はトップクラスです。更に海外からの投資促進のため、外資企業に対し投資奨励制度を設けるなど様々な恩典を受けることもできます。また、中期的な有望事業展開先ランキングとしてもタイは上位をキープしており、アセアンの投資先として日系企業にとって人気が続いています。

一方、近年では人件費などの労働コストが上昇しており、労働集約型の製造業にとって、アセアンにおける人件費から見たタイの優位性は低くなっており、高等教育進学率の低さによる高度人材不足などもタイ進出の課題となっています。

【図表5】タイ進出の主なメリットと課題

メリット	課題
<ul style="list-style-type: none"><li>・整備されたインフラ</li><li>・充実した投資奨励制度</li><li>・裾野産業の集積</li><li>・メコン地域の中心に位置する地理的優位性</li><li>・消費者の高い購買力 など</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・労働コストの上昇</li><li>・高等教育進学率の低さに起因する高度人材不足</li><li>・少子高齢化と労働人口の減少</li><li>・不安定な政治事情 など</li></ul>

出所：コンサルティング会社等へのヒアリングにより作成

【図表6】中期的（今後3年程度）有望事業展開先の推移

順位	2018年	2019年	2020年	2021年
1	中国	インド	中国	中国
2	インド	中国	インド	インド
3	<b>タイ</b>	ベトナム	ベトナム	アメリカ
4	ベトナム	<b>タイ</b>	<b>タイ</b>	ベトナム
5	インドネシア	インドネシア	アメリカ	<b>タイ</b>

出所：国際協力銀行資料より作成

## 4.おわりに

タイは、投資環境も整備され、日本人の居住環境も整っていることから、日系企業が進出しやすい国となっています。タイへの進出というと、まだ労働集約型の製造業というイメージが強いと思いますが、所得水準の向上等により、いまではタイ国内の消費市場をターゲットとしたサービス業などの非製造業の進出の方が多く、中小企業の進出も増加しています。

めぶきFGでは、タイへの進出に際し、コンサルティング会社の紹介や市場調査も行っています。タイでのビジネス展開にご興味がありましたらお気軽にご相談ください。

## 【シンガポール】～生搾りオレンジジュースの販売機～

多彩なフルーツがお手頃価格で楽しめるシンガポール。今回はシンガポールでおすすめの生搾りオレンジジュースの販売機（IJOOZ）をご紹介します。自動販売機の中に生のオレンジが入っており、お金を払うと皮をむき、搾り始めます。価格は2SGD（約170円）で45秒で搾りたてのオレンジジュースが出来上がります。この自動販売機の魅力は、味、価格だけではなく、リサイクルを徹底して行っている事です。使用するオレンジは、規格外の物を使用し、オレンジの廃棄物をエッセンシャルオイル、ナチュラルクレンジングソリューションなどの貴重な資源に変えています。また、カップ、シール、ストローは再生紙を利用しています。身体、環境、お財布にも優しいこちらの販売機、現在32か国で設置されているので、間もなく日本にも進出してくるのではないのでしょうか。

常陽銀行シンガポール駐在員事務所  
現地スタッフ 関 順

## 【自動販売機】



【筆者撮影】

## 【電気バスの様子】



【筆者撮影】



## 【ベトナム】～電気バス開業で目指す環境問題対策～

ハノイでは、ベトナムで初めてとなる電気バス「Vinbus」が2021年12月に3路線（「E01」、「E03」と「E05」の計48台）で開業しました。この3路線は市内にある人口密度の高い地域と、バスの主要な乗り継ぎ地点や新しく開通した都市電車の駅を結びます。運賃は7,000～9,000ドン（約35～45円）で、エンジン駆動の都市バスと同額です。毎日午前5時から午後9時まで、20分間隔で運行されています。ハノイ市では大気汚染が深刻な状況であり、同市は2025年以降、市内中心部へのバイクの乗り入れ禁止を計画しています。電気バスは今年中さらに6路線を開業する予定です。公共交通機関の整備を進めることで、バイクの利用率を削減し、大気汚染・騒音問題の解消にもつながることが期待されています

常陽銀行ハノイ駐在員事務所  
現地スタッフ グエン ティ トウイ

## 【タイ】～ジャパンエキスポタイランド2022～

バンコクでは、毎年年初に「ジャパンエキスポタイランド」というイベントが開催されます。このイベントでは日本の文化を紹介するブースが多く出展し、様々なゾーンに分けられています。例えば、日本の料理や旅行を紹介するゾーン、日本への留学をアドバイスするゾーンなどがあります。そして、日本のアイドルのパフォーマンスのステージやコスプレのコンテストもあります。カルタや折り紙、金魚すくいなど日本の面白い遊びや様々な文化にも触れることができ、日本が好きなタイ人にとって毎年楽しみにしているイベントです。このイベントを訪れたタイ人は非常に多く、日本の文化に触れ楽しんでいました。

足利銀行バンコク駐在員事務所  
現地スタッフ ピンパーペン・サウィター

## 【縁日のコーナー】



【筆者撮影】

## 〈経済関係NEWS〉

シンガポール



(2/07) 1月の製造業PMI、0.1ポイント低下  
(2/18) 輸出が5ヵ月連続2桁成長

マレーシア



(2/16) 今年の経済成長率5.75%、IMFが暫定予測  
(2/21) 1月輸出24%増、半導体好調

タイ



(2/10) 政策金利0.5%を据え置き、14会合連続  
(2/21) 21年のGDP1.6%成長、マイナス成長脱する

インドネシア



(2/08) 21年経済成長率は3.69%  
(2/16) 1月輸出、前月比14%減 石油禁輸が影響、貿易黒字は維持

フィリピン



(2/03) 外資規制、大半撤廃へ 公共サービス改正法案、近く成立  
(2/17) 国外からの直接投資71%増

ベトナム



(2/08) 1月の海外直接投資、4%増の21億ドル  
(2/15) 社債発行、1月は回数・金額とも大幅減

## 〈その他NEWS〉

シンガポール



(2/04) フードデリバリー市場、21年は24%成長  
(2/21) 消費税増税を2段階で実施へ

マレーシア



(2/04) ハラル見本市、オンラインで過去最高の成約額  
(2/18) 濃厚接触者の隔離、追加接種済みは免除も

タイ



(2/08) トラベルバブル、中国・マレーシアと協議へ  
(2/18) RCEP始動、日中向けの輸出拡大に期待

インドネシア



(2/08) 首都空港、観光目的での入国可能へ  
(2/17) ジャカルタの渋滞が大幅改善

フィリピン



(2/07) ビザ別に入国条件、短期なら保険加入  
(2/14) 外国人の受入れ再開、初日は2400人

ベトナム



(2/08) 4月末までに外国人観光の全面再開を、首相  
(2/16) 外国人観光客受け入れ、3月15日全面再開

# アセアン・インド休日情報

## 2022年3月

日	月	火	水	木	金	土
		1 ID	2 MM	3 IN	4	5
6	7	8 CD	9	10	11	12
13	14	15	16 MM	17	18 ID	19
20	21 JP	22	23	24	25	27 MM
28	29	30	31			

## 2022年4月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6 TH	7	8	9 PH MM
10 VN MM	11 VN MM	12 MM	13 TH MM	14 TH MM PH	15 MM SG TH	16 PH MM CD
17 MM	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29 JP	30 VN

## 2022年5月

日	月	火	水	木	金	土
SG MY TH IN 1 PH VN CD MM	SG MY SG MY 2 IN 3 PH	4	5	6	7	
8	9	10	11	12	13	14 CD MM
15 TH	16 CD TH IN ID	17	18	19 CD	20	21
22	23	24	25	26 IN	27	28
29	30	31				

※ナショナルホリデーのみ掲載  
※祝祭日名省略

出典：ジェットロ各国情報

- JP 日本
- MY マレーシア
- TH タイ
- SG シンガポール
- PH フィリピン
- VN ベトナム
- IN インドネシア
- MM ミャンマー
- ID インド
- CD カンボジア

# めぶき F Gアジアネットワーク（1）

お客様の海外進出をサポートするため、様々な機関や外国銀行と業務提携を結び、支援体制の強化を進めています。

## ◎業務提携先一覧

提携先	常陽	足利	主な業務内容
中国銀行（中国）	●	●	中国国内情報の提供および各種金融サービスの提供
交通銀行（中国）	●		
中国信託商業銀行（台湾）	●		台湾情報の提供および各種金融サービスの提供
カシコン銀行（タイ）	●	●	タイ国内情報の提供および各種金融サービスの提供
バンコック銀行（タイ）	●		
バンクネガラインドネシア （インドネシア）	●		インドネシア国内情報の提供および各種金融サービスの提供
CIMBニアガ銀行 （インドネシア）		●	
ヴィエティンバンク （ベトナム）	●		ベトナム国内情報の提供および各種金融サービスの提供
ベトコム銀行（ベトナム）	●	●	
ベトナム外国投資庁 （ベトナム）	●		ベトナム関連セミナーの開催協力 ベトナム進出に関する各種支援、投資関連情報の提供
BDOユニバンク （フィリピン）	●		フィリピン国内情報の提供および各種金融サービスの提供
メトロポリタン銀行 （フィリピン）		●	
インドステイト銀行 （インド）	●	●	インド国内情報の提供および各種金融サービスの提供
バナメックス（メキシコ）	●	●	メキシコ国内情報の提供および各種金融サービスの提供
アグアスカリエンテス州政府ほか （メキシコ）	●	●	メキシコに関する現地市場調査 投資情報の提供
日本貿易振興機構（JETRO）	●	●	海外事業展開や各国制度等に関する各種情報提供
国際協力機構（JICA）	●	●	途上国での海外事業展開や各国制度等に関する各種情報提供
国際協力銀行（JBIC）	●		海外展開支援融資の提供
日本貿易保険（NEXI）	●	●	輸出取引を行う際の海外取引リスクに備える各種貿易保険の提供
中小企業基盤整備機構		●	海外事業展開や各国制度等に関する各種情報提供
東京海上日動火災保険	●	●	海外リスク情報等の提供
損害保険ジャパン	●	●	リスクマネジメントコンサルティングサービスの提供
三井住友海上火災保険	●	●	各種損害保険の提供
セコム	●		海外での安全システム・防犯危機商品の提供
総合警備保障	●		海外セキュリティサービスの提供

# めぶき F Gアジアネットワーク (2)

## ◎めぶきFG海外駐在員事務所

常陽銀行シンガポール事務所	63 Market Street, #11-03 Bank of Singapore Centre Singapore 048942 TEL:+65-6225-6543
常陽銀行ハノイ駐在員事務所	5th Floor, Sun Red River, 23 Phan Chu Trinh Street, Hoan Kiem District, Hanoi, Vietnam TEL:+84-24-3218-1668
常陽銀行上海駐在員事務所	上海市延安西路2201号 上海国際貿易中心1901室 TEL:+86-21-6209-0258
常陽銀行ニューヨーク駐在員事務所	712 Fifth Avenue, 8th Floor, New York, NY 10019 TEL:+1-347-686-8420
足利銀行香港駐在員事務所	Suite 1601, 16th Floor, Tower 2, The Gateway, Harbour City, Kowloon, Hong Kong TEL:+852-2251-9475
足利銀行バンコク駐在員事務所	689, Bhiraj Tower at Emquartier, 27th Floor, Room No.2714, Sukhumvit Road, Klongton-nue, Wattana, Bangkok, Thailand 10110 TEL:+66-2-261-2852

